

Leader



2023年3月期 第3四半期 決算補足説明資料 リーダー電子（6867）

2023年2月10日

<https://www.leader.co.jp/>

2023年3月期 第3四半期 決算

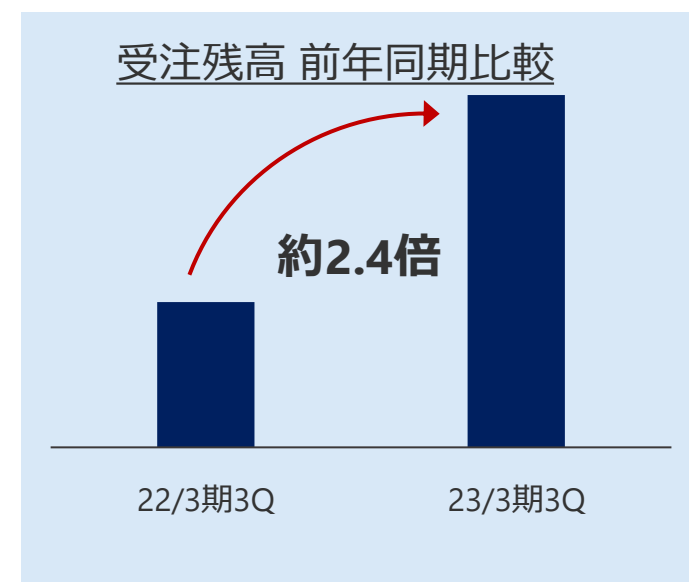


<https://www.leader.co.jp/>

業績：サプライチェーン混乱は一部の部材において想定以上に長期化の様相。
納品スケジュールが確定できない状況が継続。

■ 売上高：2,688百万円（前期比+5.5%）、経常利益：△399百万円

| | |
|----|---|
| 中国 | コロナ政策の転換による回復はゆるやか。コロナ以前の活況さはない。 |
| 北米 | マクロ環境は厳しい面もあるがIP対応機種を中心に新技術への投資が堅調。 |
| 欧州 | パリ五輪に向けて投資の動きはあるものの、マクロ環境は冷え込んでおり、案件の動きは鈍い。 |
| 日本 | 前期から引き続き設備投資意欲低調。当面回復の気配無し。 |



■ 財務：自己資本比率 80.0%と盤石の財務基盤維持（前期末比△1.8pt）

2023年3月期 第3四半期 決算概要

欧米はIP化への投資に意欲的でマクロ環境が厳しい中でも好調を維持。
全体では、サプライチェーンの混乱により納品が遅れ苦戦。

| (単位：百万円) | 2022年3月期 3Q 実績 | 構成 % | 2023年3月期 3Q 実績 | 構成 % | 前年同期比 % |
|----------------------|-------------------|---------|-------------------|---------|------------|
| 売上高 | 2,548 | 100% | 2,688 | 100% | +5.5% |
| 売上総利益 | 1,709 | 67.1% | 1,660 | 61.8% | △2.9% |
| 販売費及び一般管理費 | 1,719 | 67.5% | 2,162 | 80.5% | +25.8% |
| 営業利益 | △9 | - | △502 | - | - |
| 経常利益 | 27 | - | △399 | - | - |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 2 | - | △401 | - | - |

戦略的に研究開発費を増加 研究開発費：886百万円（前年同期比+241百万円）

多様化が進む放送環境において幅広く活用可能

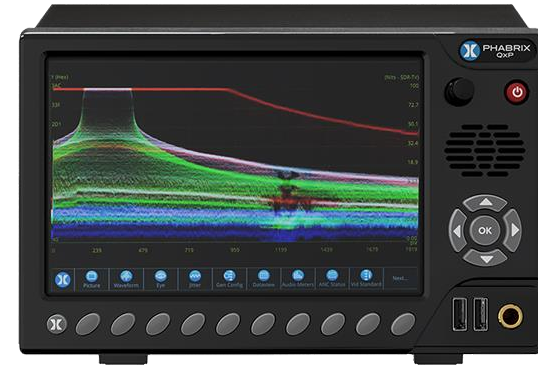
ラスタライザーQx の上位機種
25G-IP 対応ラスタライザーQxL



- 製品名：ラスタライザー
- 型番：QxL
- 発売開始：2020年9月
- 開発元：PHABRIX社

IP&SDI ハイブリッド
ポータブル 波形モニターQxP

世界初!!

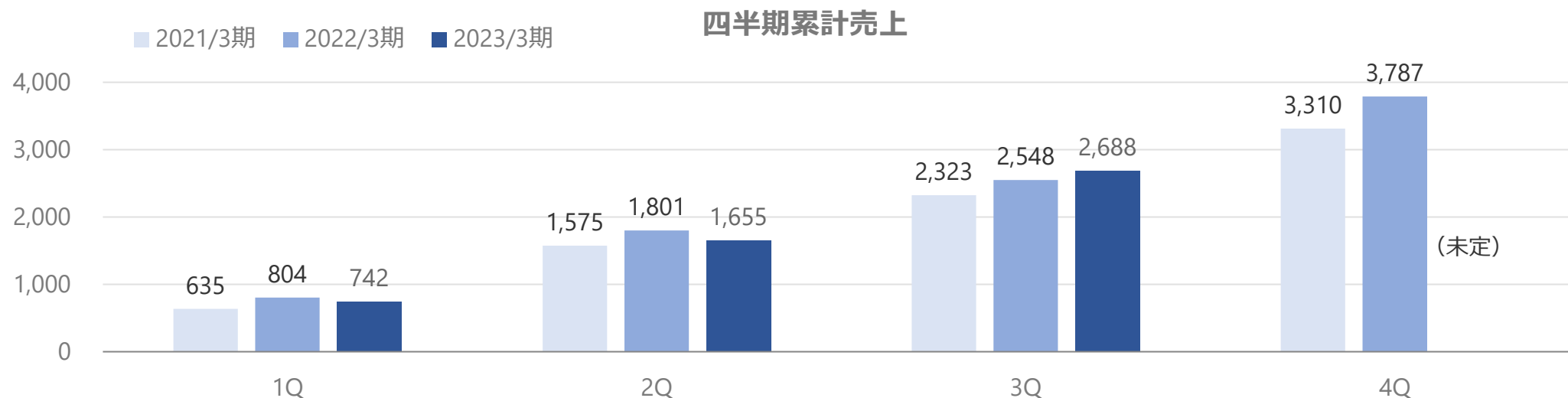
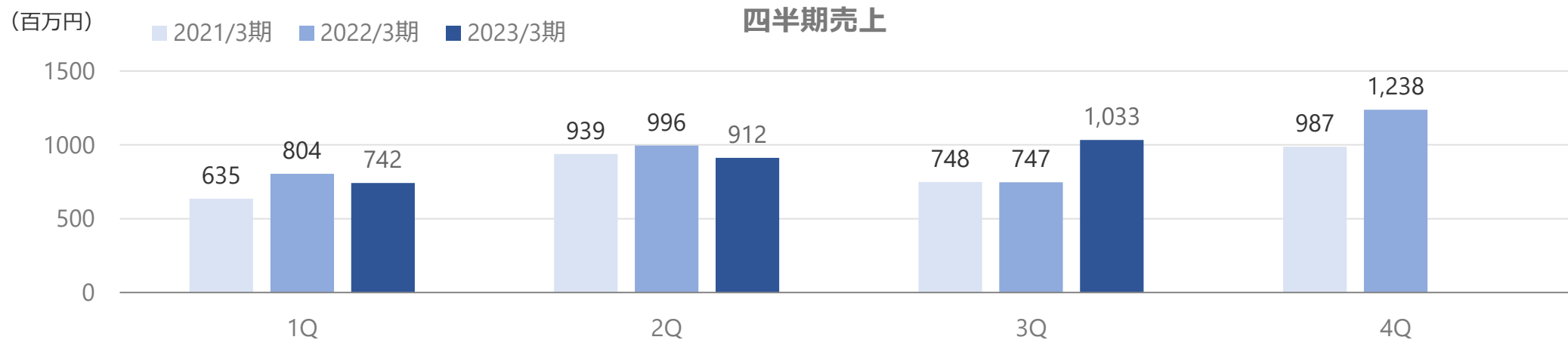


(バッテリー駆動可能)

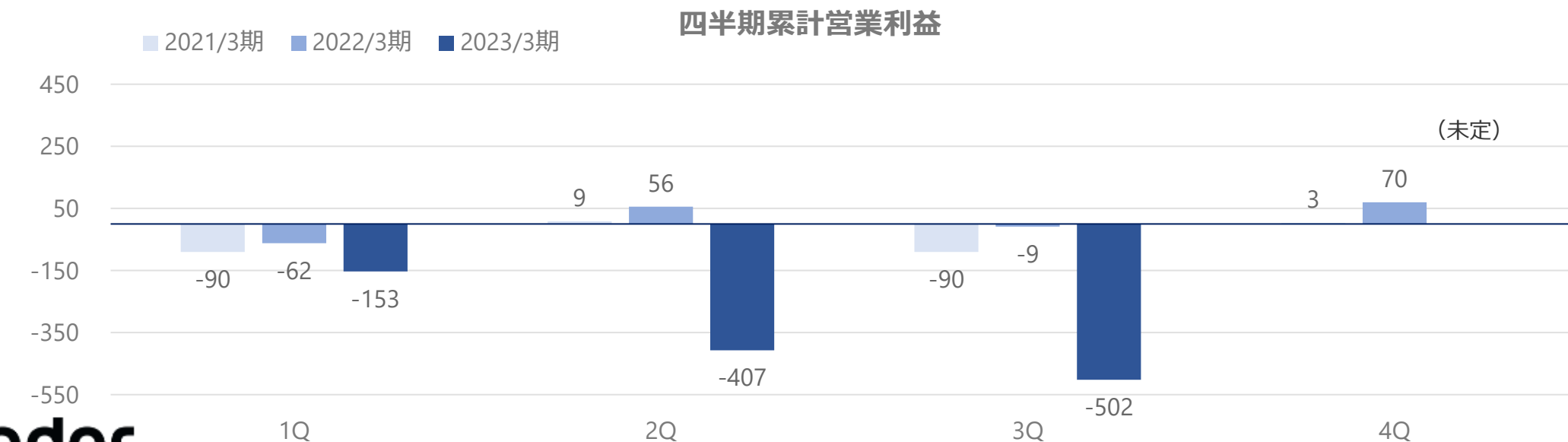
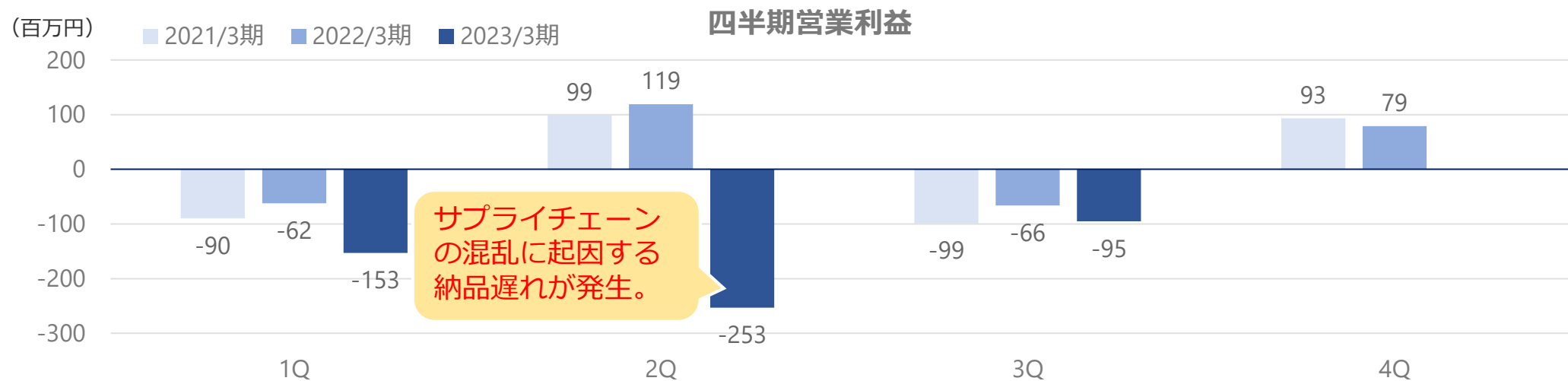
- 製品名：波形モニター
- 型番：QxP
- 発売開始：2023年2月
- 開発元：PHABRIX社

高画質化する放送メディアのIPネットワークに対応可能な製品

四半期業績推移（売上高）

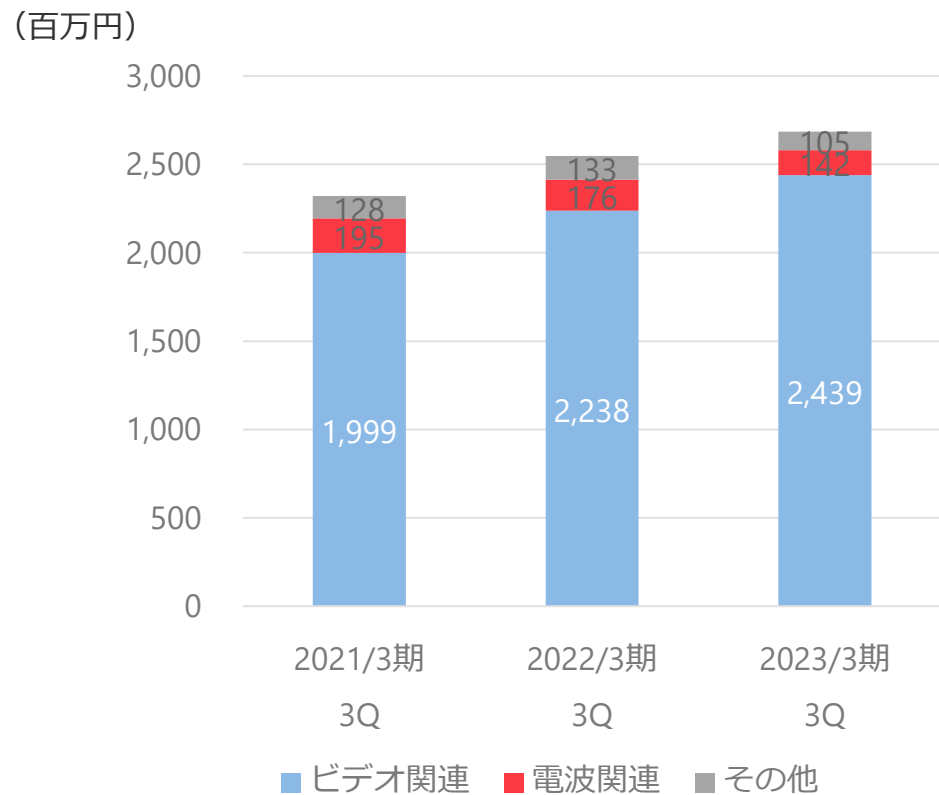


四半期業績推移（営業利益）

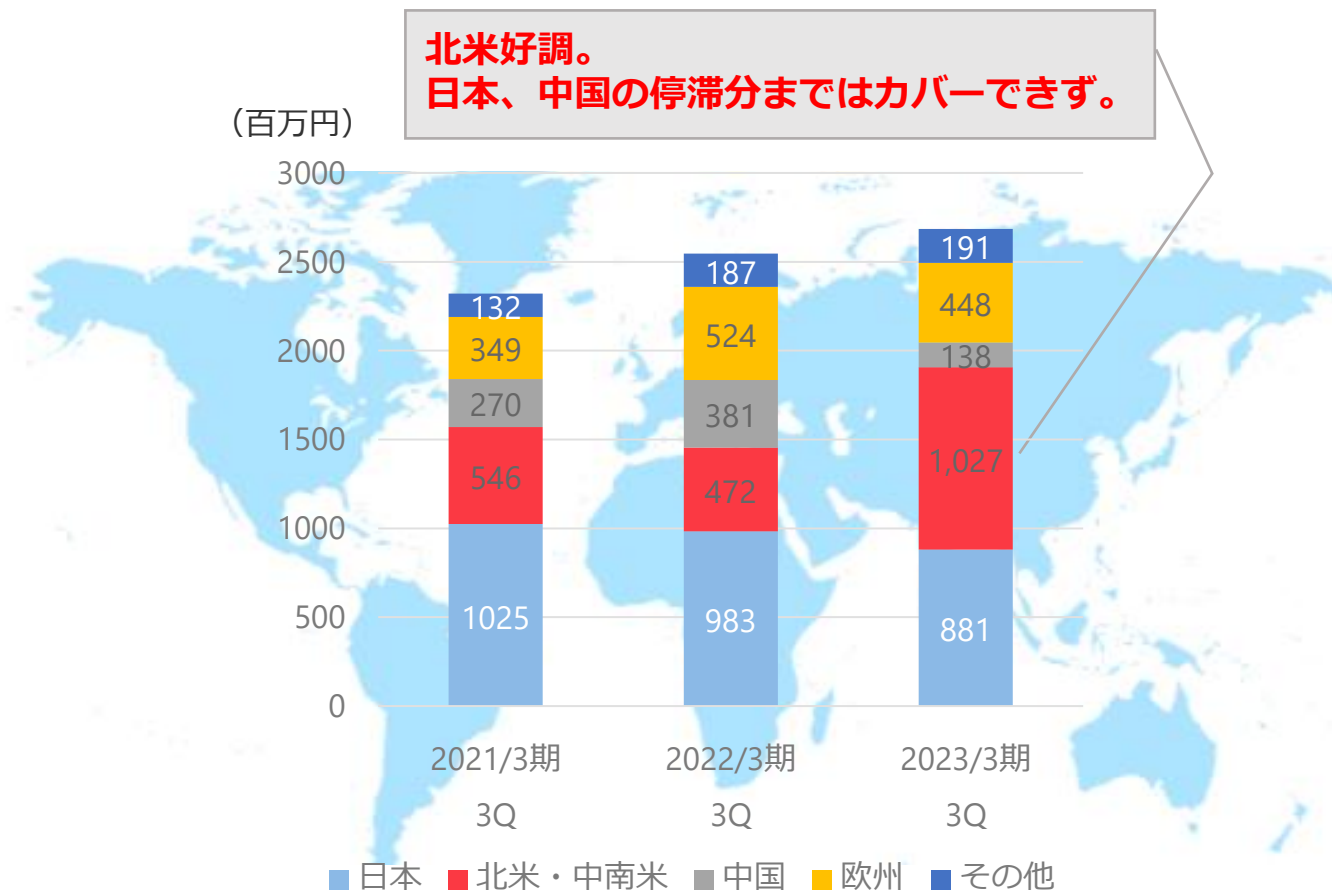


セグメント情報

■ 商品別売上高



■ 地域別売上高



貸借対照表、資金調達関連

| 単位:百万円 | 22年3月末 | 22年12月末 |
|----------------|--------|--------------|
| 流動資産 | 4,260 | 4,049 |
| 現預金 | 3,005 | 2,344 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 673 | 770 |
| 商品及び製品 | 291 | 337 |
| その他 | 290 | 597 |
| 固定資産 | 1,467 | 1,397 |
| 有形固定資産 | 636 | 596 |
| 無形固定資産 | 395 | 341 |
| 投資その他の資産 | 435 | 451 |
| 総資産 | 5,728 | 5,447 |
| 流動負債 | 561 | 600 |
| 買掛金 | 205 | 174 |
| その他 | 356 | 425 |
| 固定負債 | 459 | 470 |
| 退職金に係る負債 | 305 | 329 |
| その他 | 136 | 140 |
| 純資産 | 4,707 | 4,376 |
| 株主資本合計 | 4,821 | 4,330 |
| その他包括利益累計等 | ▲114 | 46 |
| 負債純資産合計 | 5,728 | 5,447 |

主な増減要因

【総資産】

- 受取手形、売掛金及び契約資産：+96百万円
- 原材料及び貯蔵品：+87百万円
- 現金及び預金：△660百万円

【負債合計】

- 買掛金：△30百万円
- その他の流動負債：+96百万円

自己資本比率80.0%（前期末比△1.8pt）

2023年3月期 第4四半期以降の取り組み



<https://www.leader.co.jp/>

4Q以降の外部環境認識

環境

1. 外部環境は2023年一杯は厳しいと想定。
 - エリアごとの環境想定
 - 中国 本格回復までには時間が掛かる。
 - 北米 マクロ環境の厳しさはあるものの堅調。新技術への投資は意欲的。
 - 欧州 パリ五輪に向けての期待感はあるものの楽観視はできない。
 - 日本 当面投資の拡大は見込めない。
2. サプライチェーンの混乱も暫く継続することを想定。

影響

- 少なくとも2023年度前半までは売上の大きな拡大は見込めない。

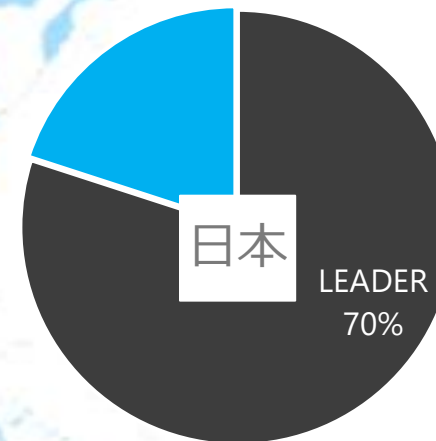
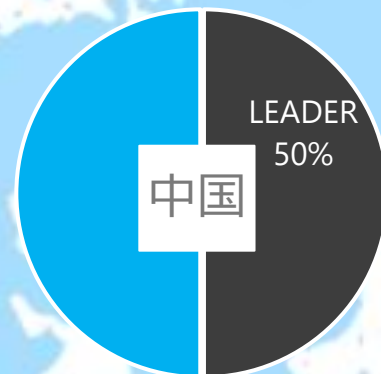
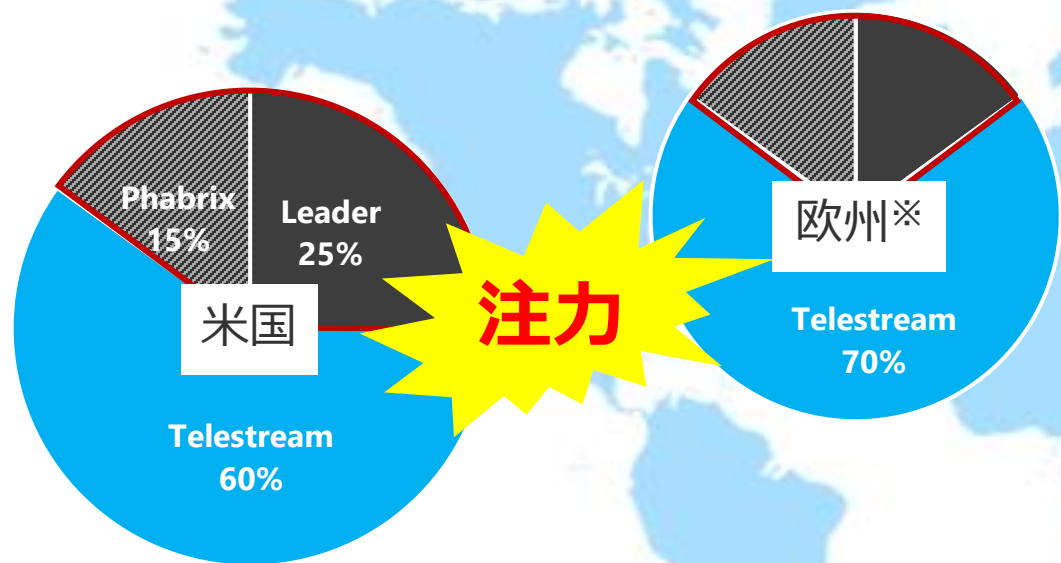
対策

- 厳しい外部環境下でも利益確保できる体制作り。構造改革の推進。経営資源の効率化。
- サプライチェーン強化への取り組み。
- 動画の大量生産時代に対応するべく積極的な開発投資を継続。

競合状況と当社グローバルシェア

当社グローバルシェア2位： トップは Telestream社
大きな環境の変化をチャンスと捉え、世界トップを狙う！

欧米のシェア拡大に向け経営資源投下
製品開発、マーケティング活動推進中



構造改革の取り組みについて

フェーズ 1

2023年3月期

- 人材ポートフォリオの見直し
 - 希望退職者募集の実施
 - 中国
 - 日本国内

フェーズ 2

2024年3月期

- 飛躍に向けた内部体制固め
 - カンパニー制導入
 - グロースビジネス・カンパニー
 - バリュービジネス・カンパニー
 - シェアードサービス・カンパニー
- 主要製品ラインナップの一新

カンパニー制導入 ～23年度より

リーダー電子株式会社を3つのカンパニーへと再編する

グロースビジネス・カンパニー：機動的な新規事業開発を推進

- VMA (Video Management Automation) 事業部門
- イメージセンシング事業部門

バリュービジネス・カンパニー：安定・高収益事業から投資余力を創出

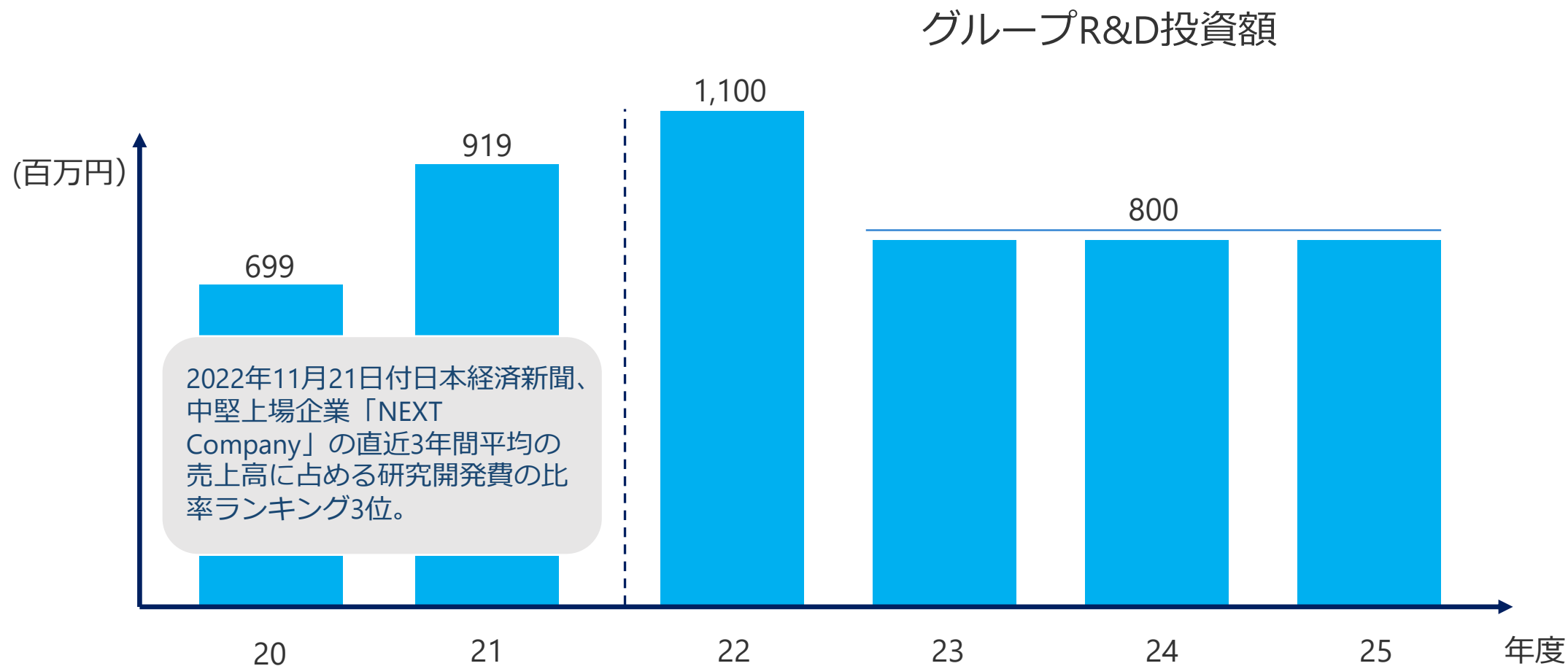
- 放送関連機器事業部門
- ワイヤレス事業部門

シェアードサービス・カンパニー：両カンパニーの効率的運営を支援

- TQM (Total Quality Management) 部
- 総務部

R&D指針は変更なし

激動の環境変化に迅速に対応すべく、R&D投資を加速化する
特に22年度は、21年度に引き続いて集中的に投資を進める



GLADIAS Cloud

➤本格的な業績寄与は2023年度以降を想定。



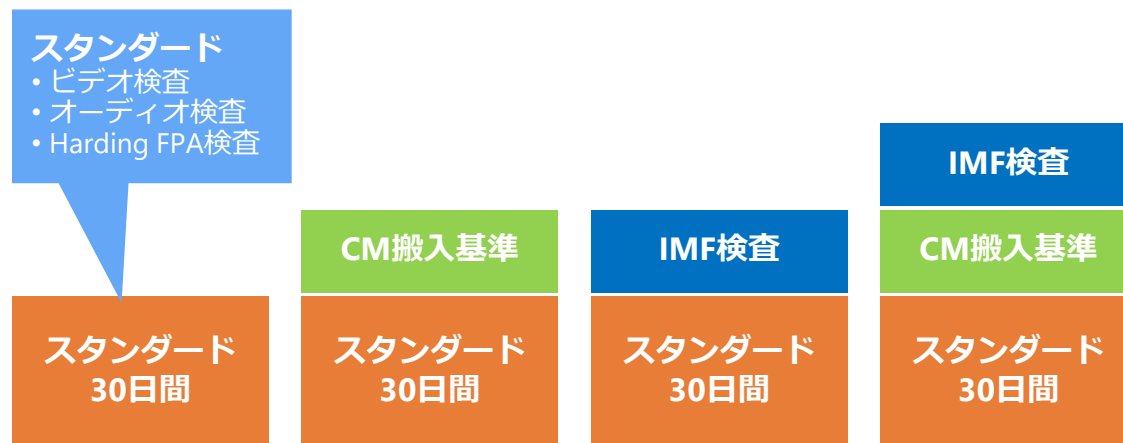
コンテンツチェッカー

GLADIAS Cloud

通常、人が目で見て判断する映像・音声のクオリティを、AIが代わって検査するクラウドサービスです。AI (ディープラーニング) を使って、コンテンツの異常と思われる部分を見つけ出します。



サブスクリプション プラン



車載カメラ向け解像度測定ソフトウェア

国内メーカー数社で導入試験実施中。

MTF Measurement Software SFR-Fit

車載カメラ向け 解像度測定ソフトウェア

魚眼レンズを備えた車載カメラの
解像度測定に最適

測定が困難であった魚眼レンズを備えた車載カメラ
の解像度を安定かつ、高精度に測定

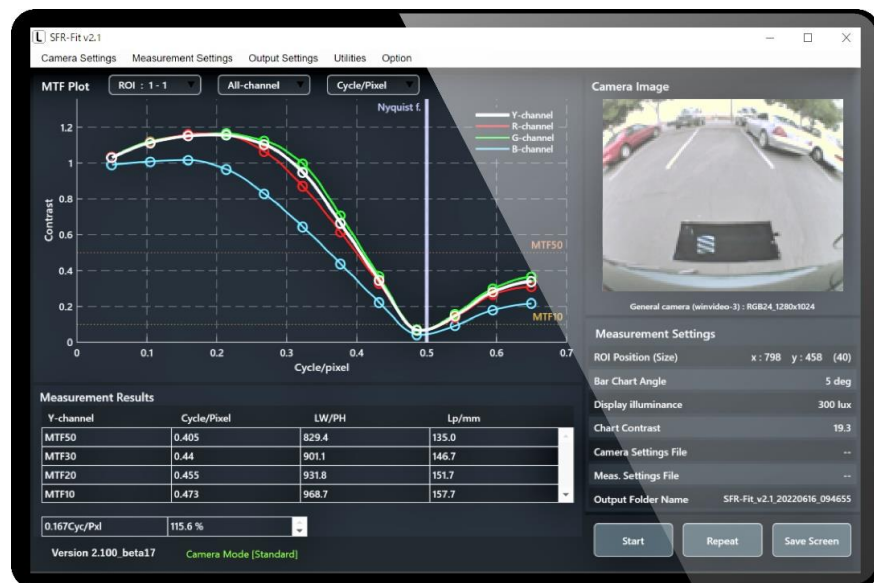
画像の歪みやノイズ、画像処理に強い

ペーパーやフィルムなどのテストチャートが不要

開発・バージョンアップ継続。

機能アップデート（2023年2月予定）

- ①CMS 解像度測定機能
- ②AWB/AE 応答性測定機能





開催日時：2023年1月5日（木）～8日（日）

開催場所：米国ネバダ州ラスベガス（LVCC）

従来機能であるカメラ解像度測定に加えて、2023年に2月アップデート予定の機能の2つを出展

- ①CMS 解像度測定機能
- ②AWB/AE 応答性測定機能

更に、SFR-Fitを医療カメラ車載カメラ関連以外への訴求するために、内視鏡カメラを模した治具を用いて内視鏡カメラの解像度測定展示実施

https://www.leader.co.jp/uploads/2023/01/CES2023_booth_report.pdf



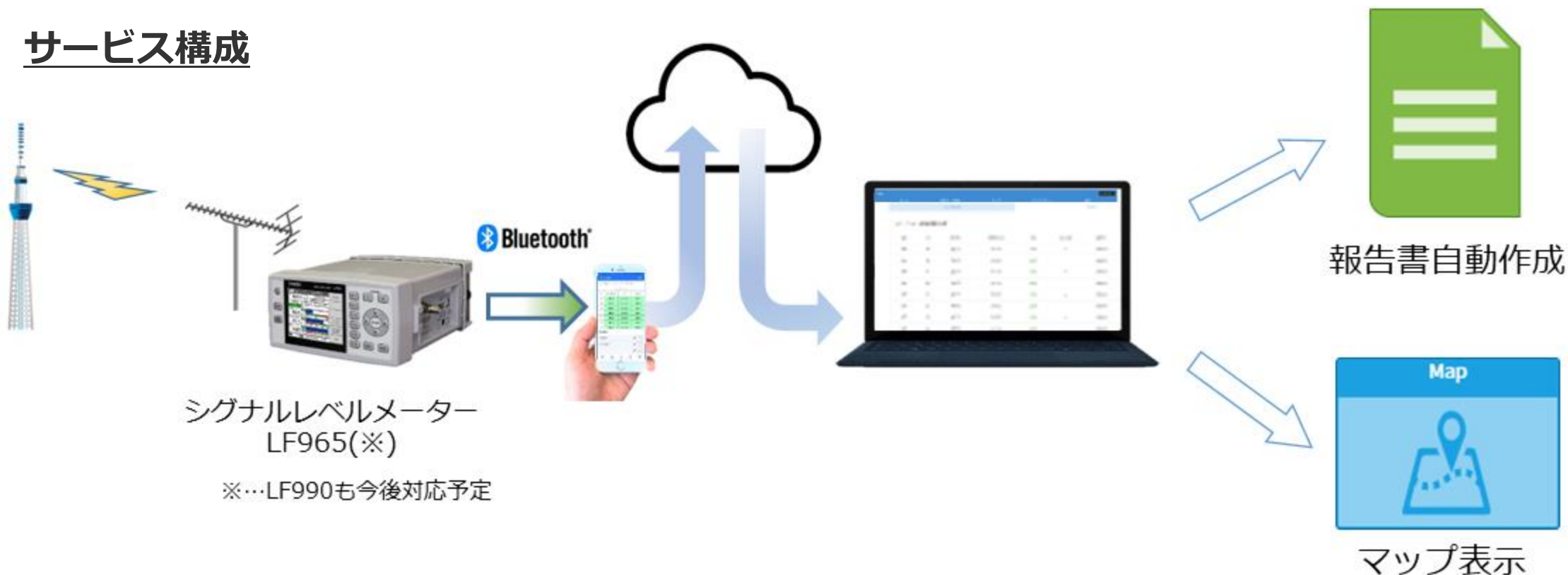
自動車関係以外に、医療（内視鏡）、セキュリティカメラの分野におけるニーズがあることも確認

LePorter



LF965で取得した測定データをスマートフォン経由でクラウドサーバーにアップロードし、データを保存・管理および報告書の自動作成ができる新しいサービス。従来はUSBメモリーなどの媒体に取得データをコピーし、PCにてデータ集計や報告書を作成していた作業時間の大幅な削減が可能。LF990にも対応予定。

サービス構成

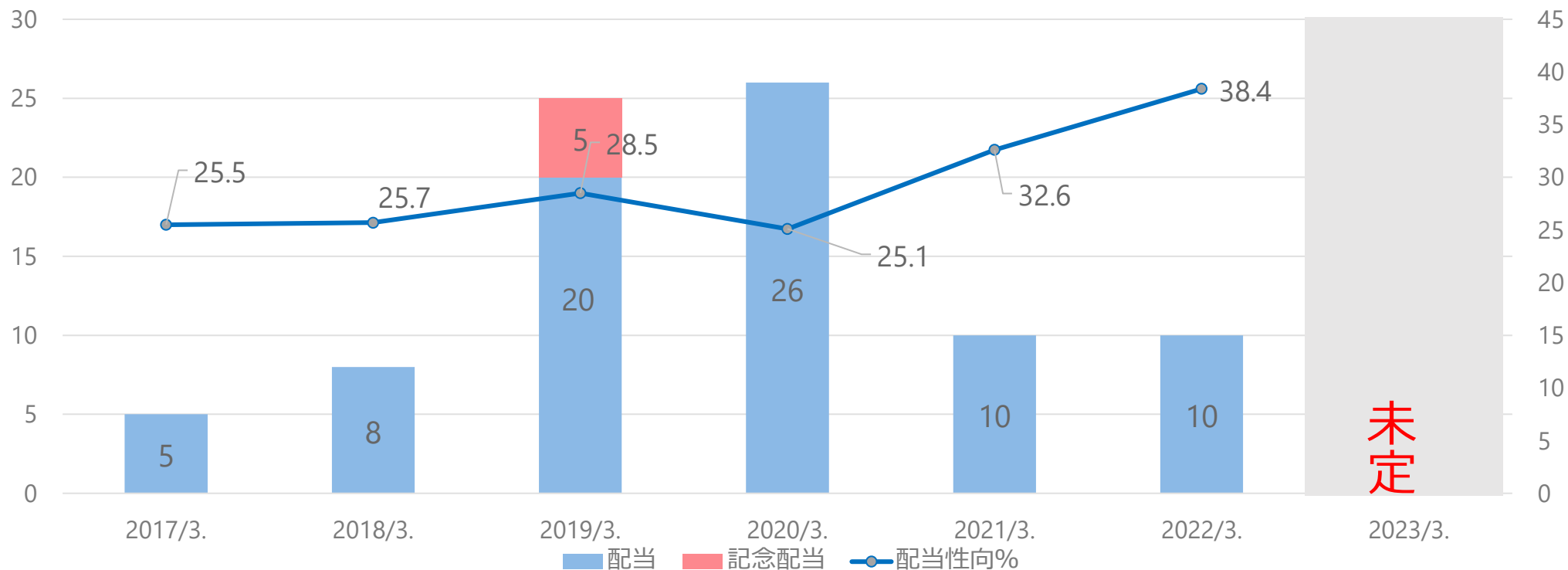


※ LF965：日本国内における高度広帯域衛星デジタル放送（4K/8K放送）、衛星デジタル放送（2K放送）、および地上波／CATVデジタル放送に対応したレベルメーター

株主還元

企業成長投資と株主還元のバランス重視。安定的な配当を継続する方針。

(配当：円)



弊社のメインのビジネス領域である放送・映像配信を取巻く環境は、大きな変革期にあります。一方、通信と放送の融合による映像（動画）の配信マーケットの急速な拡大は大きなビジネスチャンスであり、北米を中心に日々多くのクライアントから引合い、問合せを頂いております。

しかしながら、サプライチェーンの混乱が一部の部材について当初の予想以上に長引いており、受注済みの案件に対して、生産・納品スケジュールを確定できずにいる案件が多いことに加え、希望退職者募集に伴う構造改革費用が未確定のため、現時点において合理的な業績予想の算定を行うことは困難であり、適切な予想の開示ができないと判断したことから通期連結業績予想を未定といたしました。

今後、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。